【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成22年4月22日(2010.4.22)

【公開番号】特開2008-262141(P2008-262141A)
【公開日】平成20年10月30日(2008.10.30)
【年通号数】公開・登録公報2008-043
【出願番号】特願2007-142601(P2007-142601)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｂ　15/05　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　15/03　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　17/04　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　17/56　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｂ　15/05
Ｇ０３Ｂ　15/03　Ｊ
Ｇ０３Ｂ　15/03　Ｌ
Ｇ０３Ｂ　17/04
Ｇ０３Ｂ　17/56　Ｚ
Ｇ０３Ｂ　15/03　Ｕ

【手続補正書】
【提出日】平成22年3月5日(2010.3.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ストロボ発光部が組み込まれたユニットケースに一対のステーを連接して当該ステーをカメラ本体に揺動自在に軸着し、ストロボ発光部がカメラ本体から露呈した露呈位置とストロボ発光部がカメラ本体内に収納された収納位置との間で前記ユニットケースを移動自在にしたストロボ内蔵カメラにおいて、
前記カメラ本体上部の前記一対のステーの間に形成したアクセサリーシューと、当該アクセサリーシュー内に設けられ、外付ユニットの装着を検知する検知手段と、当該検知手段からの検知信号によって、前記ストロボ発光部の露呈位置への移動を禁止するストロボ移動禁止手段と、前記カメラ本体の背面の前記アクセサリーシューの下方位置に、前記外付ユニットの複数の接続端子を有する接続部材を挿入可能な開口部と、当該開口部内に前記外付ユニットの接続部材と電気的接続を行うコネクタ部と、を備えたことを特徴とするストロボ内蔵カメラ。
【請求項２】
請求項１記載のストロボ内蔵カメラにおいて、
前記外付ユニットは、カメラ本体で撮像された画像を観察する電子ビューファインダ装置であることを特徴とするストロボ内蔵カメラ。
【請求項３】
請求項１または２記載のストロボ内蔵カメラにおいて、
前記検知手段からの検知信号によって、前記ストロボ発光部の露呈位置への移動を禁止されたとき、前記カメラ本体は、前記ストロボ発光部の露呈位置への移動が禁止されていることを表示する移動禁止表示手段を備えていることを特徴とするストロボ内蔵カメラ。

【請求項４】
請求項１乃至３のいずれか１項記載のストロボ内蔵カメラにおいて、
前記検知手段からの検知信号によって、前記ストロボ発光部の露呈位置から収納位置へ移動させる移動手段を備えると共に、前記ストロボ発光部が収納位置に移動した後前記ストロボ発光部の露呈位置への移動を禁止する禁止手段を備えることを特徴とするストロボ内蔵カメラ。
【請求項５】
請求項４記載のストロボ内蔵カメラにおいて、
前記カメラ本体に設けられ、前記移動手段によって前記ストロボ発光部が露呈位置から収納位置へ移動させられたとき、前記ストロボ発光部でのストロボ発光がされないことを表示するストロボ発光停止表示手段を備えたことを特徴とするストロボ内蔵カメラ。
【請求項６】
ストロボ発光部が組み込まれたユニットケースに一対のステーを連接して当該ステーをカメラ本体に揺動自在に軸着し、ストロボ発光部がカメラ本体から露呈した露呈位置とストロボ発光部がカメラ本体内に収納された収納位置との間で前記ユニットケースを移動自在にしたストロボ内蔵カメラにおいて、
前記カメラ本体上部の前記一対のステーの間に形成されるアクセサリーシューを備え、
前記アクセサリーシューは、当該アクセサリーシューに対して水平位置と回動位置へ回動可能に形成された外付ユニットが装着可能に形成されてなり、
当該ストロボ内蔵カメラは、前記外付ユニットの回動位置への回動を検知する検知手段を更に備え、前記検知手段からの検知信号によって、前記ストロボ発光部の露呈位置への移動を禁止することを特徴とするストロボ内蔵カメラ。
【請求項７】
請求項６記載のストロボ内蔵カメラにおいて、
前記外付ユニットは、カメラ本体で撮像された画像を観察する電子ビューファインダ装置であることを特徴とするストロボ内蔵カメラ。
【請求項８】
請求項１または６記載のストロボ内蔵カメラにおいて、
前記外付ユニットは、前記アクセサリーシューと嵌合する嵌合突部を底部に有し、前記アクセサリーシュー内に形成された係合凹部と係合するロック爪部を底面から突没自在に設けてなり、当該外付ユニットの後方から下方に突出する保持部と当該保持部から前方に突出する接続部材を備え、
当該ストロボ内蔵カメラは、前記接続部材と電気的接続を行うコネクタ部を備えたことを特徴とするストロボ内蔵カメラ。
【請求項９】
請求項８記載のストロボ内蔵カメラにおいて、
前記外付ユニットは、前記カメラ本体で撮像された画像を観察する電子ビューファインダ装置であることを特徴とするストロボ内蔵カメラ。
【請求項１０】
ストロボ発光部が組み込まれたユニットケースに一対のステーを連接して当該ステーをカメラ本体に揺動自在に軸着し、ストロボ発光部がカメラ本体から露呈した露呈位置とストロボ発光部がカメラ本体内に収納された収納位置との間で前記ユニットケースを移動自在にしたストロボ内蔵カメラにおいて、
前記カメラ本体上部の前記一対のステーの間に形成したアクセサリーシューと、前記アクセサリーシュー内へ外付ユニットが装着されたときに前記ストロボ発光部の露呈位置への移動を禁止するストロボ移動禁止部材と、を備えたことを特徴とするストロボ内蔵カメラ。
【請求項１１】
請求項１０記載のストロボ内蔵カメラにおいて、
前記外付ユニットは、カメラ本体で撮像された画像を観察する電子ビューファインダ装

置であることを特徴とするストロボ内蔵カメラ。
【請求項１２】
請求項１０記載のストロボ内蔵カメラに装着可能なカメラ用外付ユニットであって、
前記外付ユニットを前記アクセサリーシュー内に装着したときに、前記ストロボ移動禁止部材による前記ストロボ発光部の移動の禁止を解除する解除手段を備えたことを特徴とするカメラ用外付ユニット。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
また、請求項６の発明は、ストロボ発光部が組み込まれたユニットケースに一対のステーを連接して当該ステーをカメラ本体に揺動自在に軸着し、ストロボ発光部がカメラ本体から露呈した露呈位置とストロボ発光部がカメラ本体内に収納された収納位置との間で前記ユニットケースを移動自在にしたストロボ内蔵カメラにおいて、前記カメラ本体上部の前記一対のステーの間に形成されるアクセサリーシューを備え、前記アクセサリーシューは、当該アクセサリーシューに対して水平位置と回動位置へ回動可能に形成された外付ユニットが装着可能に形成されてなり、当該ストロボ内蔵カメラは、前記外付ユニットの回動位置への回動を検知する検知手段を更に備え、前記検知手段からの検知信号によって、前記ストロボ発光部の露呈位置への移動を禁止することを特徴とする。
また、請求項７の発明は、請求項６記載のストロボ内蔵カメラにおいて、前記外付ユニットは、カメラ本体で撮像された画像を観察する電子ビューファインダ装置であることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
また、請求項８の発明は、請求項１または６記載のストロボ内蔵カメラにおいて、前記外付ユニットは、前記アクセサリーシューと嵌合する嵌合突部を底部に有し、前記アクセサリーシュー内に形成された係合凹部と係合するロック爪部を底面から突没自在に設けてなり、当該外付ユニットの後方から下方に突出する保持部と当該保持部から前方に突出する接続部材を備え、当該ストロボ内蔵カメラは、前記接続部材と電気的接続を行うコネクタ部を備えたことを特徴とする。
また、請求項９の発明は、請求項８記載のストロボ内蔵カメラにおいて、前記外付ユニットは、前記カメラ本体で撮像された画像を観察する電子ビューファインダ装置であることを特徴とする。